

Business Report

第18期 第2四半期株主通信 2014.4.1 ▶ 2014.9.30

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、ここに当社グループの第18期第2四半期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の営業の概況と決算についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

田中 久男

ごあいさつ

当社は、昨年10月25日に東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部へ指定替えし、一年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係者の皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

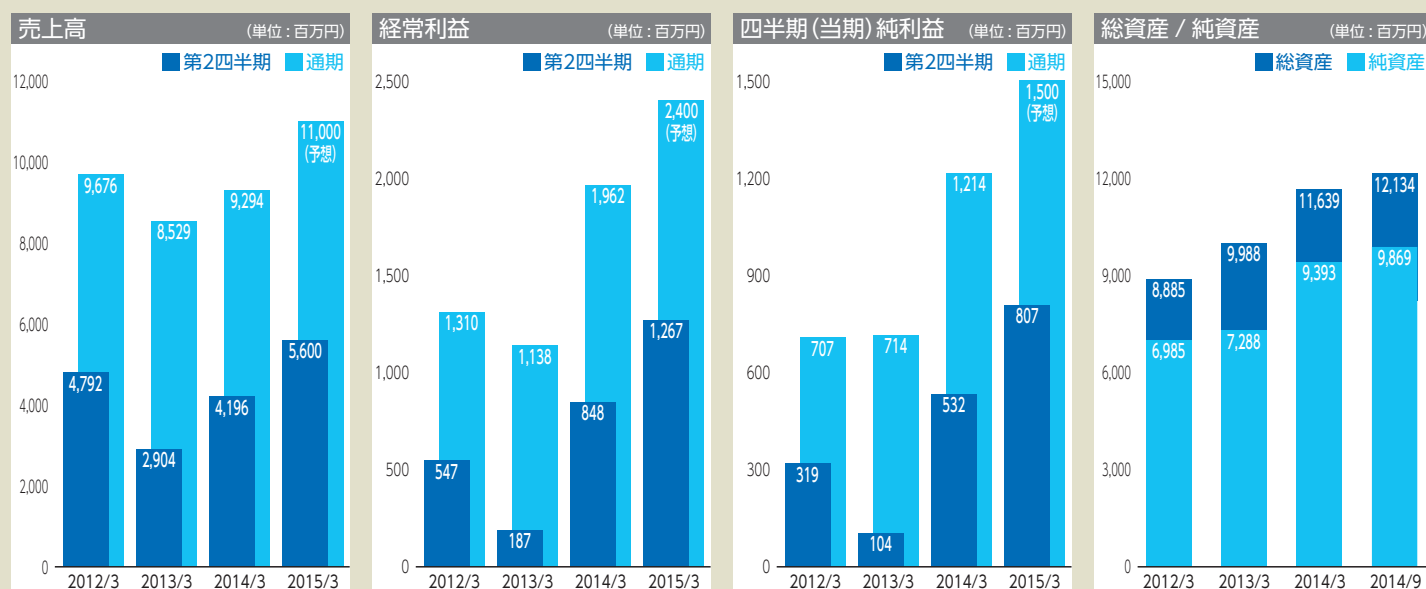
今後も「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」の企業理念の下、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者の利益となる「Win-Win-Win(トリプルウィン)」、18歳から70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G(トリプルジェネレーション)」を推進してまいります。

当社グループは、半導体工場や液晶関連工場等を主たる顧客としたエレクトロニクス関連事業と、グラフィックボード類の企画・販売を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として、業界屈指のパイオニア企業を目指し事業展開しております。

良きパートナーとともに良きサポーターのご支援を受けながら、社会的責任と貢献を果たしつつ安定成長していけるよう、社員(家族)全員でチャレンジしてまいります。

今後とも皆様の一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト



業績の概要

■当第2四半期の業績

当第2四半期の業績は、売上高5,600百万円、営業利益1,258百万円、経常利益1,267百万円、四半期純利益807百万円となりました。

当社グループが属する業界では、スマートフォンやタブレット端末及び車載向けなどの半導体や中小型ディスプレイを中心とした需要が継続していることから、設備投資は順調に実施され、生産活動も順調に推移しました。

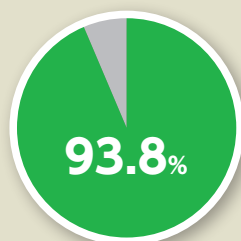
このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業は、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門(特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工)につきましても、主に半導体工場向け案件を確実に受注したことにより好調に推移しました。また、国内外の半導体工場での生産活動も順調に推移したことから、生産活動に伴い発生するオペレーション部門(特殊ガス販売管理業務、技術サービス等)につきましても順調に推移しました。一方、グラフィックスソリューション事業においても、主にデジタルサイネージ向け販売が堅調に推移しました。

■通期の見通し

上期は、政府による各種経済政策などにより円安や株価上昇となり、企業業績にも改善が表れ、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で海外経済は新興国経済の成長鈍化や中東及び東欧における地政学的リスクに起因する懸念から、依然として先行き不透明感は払拭されない状況で推移しました。そのような状況の中で、エレクトロニクス関連事業においては、主要顧客における設備投資が継続して実施されるものと想定されることから、イニシャル部門では確実に受注を獲得し、また、オペレーション部門では技術サービスの拡充を図り事業拡大に繋げていきたいと考えております。一方、グラフィックスソリューション事業においても、新規顧客獲得や新製品導入などによる販売拡大を図り、これらの計画により当社グループの通期見通しは、売上高11,000百万円、営業利益2,400百万円、経常利益2,400百万円、当期純利益1,500百万円としております。

エレクトロニクス関連事業

最先端工場等へのトータルファシリティサービスを提供



【当第2四半期の業績】

売上高	52億52百万円 (前年同期比 36.1%増)
セグメント利益	14億45百万円 (前年同期比 52.6%増)

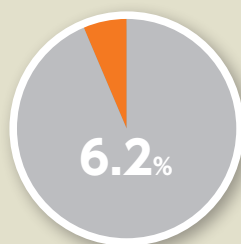
【事業内容】

半導体・液晶製造向けガス供給システムの開発・製造・販売
特殊ガス/BULKガス・超純水・真空・一般設備配管等の設計施工
各種メンテナンスサービス
トータルファシリティマネジメント (TFM)

- ・特殊ガスの販売管理業務
- ・超純水プラントの運転管理業務
- ・薬液運搬・管理業務
- ・動力、空調の運転管理業務
- ・半導体製造装置に関する保守・メンテナンス業務

グラフィックスソリューション事業

マルチディスプレイシステムを中心としたソリューションを提供



【当第2四半期の業績】

売上高	3億47百万円 (前年同期比 3.4%増)
セグメント利益	56百万円 (前年同期比 3.0%増)

【事業内容】

各種システム向けマルチモニタ対応グラフィックス製品の輸入・企画・販売・サポート
CAD/CAM用3次元ツールソフトの開発や3次元データ処理に関するアプリケーションソフトの受託開発ならびに3次元CADビューワソフトの販売

太陽光発電事業を開始しました

当社は、エネルギーの安定供給と地球温暖化対策などの環境保護に微力ながら貢献したいという考えから、再生可能エネルギーへ取り組むため三重県度会郡南伊勢町に太陽光発電施設を設置し、2014年10月から新たに太陽光発電事業を開始しました。



●トピックス

株主優待制度を導入しました

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単位(100株)以上を保有されている株主様を対象として保有株式数に応じ、クオカードを贈呈いたします。

保有株式数	優待内容
5,000株以上	クオカード 5,000円分
1,000株以上 5,000株未満	クオカード 3,000円分
100株以上 1,000株未満	クオカード 1,000円分



Karisma CG (放送用リアルタイム3Dグラフィックシステム)

ニュース、天気予報、スポーツ中継やショッピングチャンネル等で使われる2D・3Dテロップの編集・作成・再生・プレビュー・外部制御まで全てを一台でこなすオールインワンシステムです。独自開発のグラフィックス描画エンジンにより、それぞれの工程を効率的に処理するよう設計されているため、テロップの編集から送出までの時間を短縮しながら、妥協のない高品位なグラフィックスコンテンツを実現できる「Karisma CG」の販売を新たに開始しました。



東北映像機器フェスティバル2014出展

2014年6月4日から5日の2日間、仙台サンプラザホールで開催された「東北映像機器フェスティバル2014」に出展しました。本イベントは、東北地区において映像およびコンテンツ制作に関係する方々に、情報収集の場、コミュニケーションの場、そして将来の機器選択の相談の場として、活用されることを目的として毎年開催されています。

弊社が販売するオランダVidiGo社の製品「VidiGo Live」と韓国VRI社の製品「Karisma CG」を紹介しました。



After NAB Show Tokyo/Osaka 2014出展

「After NAB Show Tokyo/Osaka 2014」(2014年5月)に出展しました。米国ラスベガスで開催された世界最大の放送・映像業界のイベントNAB Showに出展した企業の最新機器の展示やセミナーを一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会の主催により、東京・大阪で開催された催しです。弊社が販売するMatrox社の製品「Mojito4K」をはじめ、オランダVidiGo社の製品「VidiGo Live」、韓国VRI社の製品「Karisma CG」を紹介しました。



会社情報

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)

設立年月日：1997年4月28日

資本金：8億646万3,150円

上場市場：東証一部、名証一部

代表者：代表取締役社長 田中久男

従業員数：(連結)538名、(単独)197名(2014年9月30日現在)

本店所在地：三重県三重郡菰野町永井3098番22

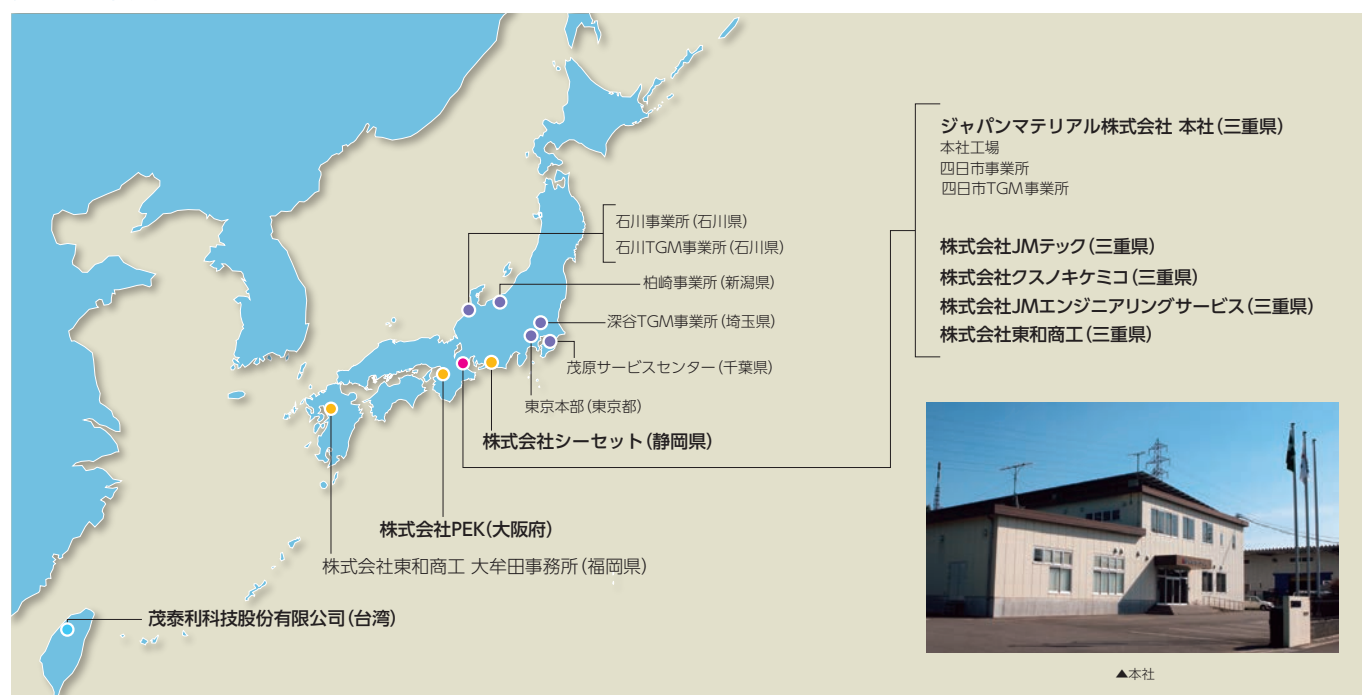
役員

代表取締役社長	田中久男	執行役員	坂口好則
常務取締役執行役員	深川耕志	執行役員	西村辰彦
取締役執行役員	小川圭造		
取締役執行役員	門脇宏八		
取締役執行役員	長谷圭祐		
取締役執行役員	田中智和		
社外取締役	町田和彦		
常勤監査役	喜多照幸		
社外監査役	安井広伸		
社外監査役	春馬葉子		

関係会社

名称	住所	資本金 (単位：百万円)	主要な事業の内容	名称	住所	資本金 (単位：百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業	株式会社PEK	大阪府堺市堺区	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業	茂泰利科技股份有限公司	台湾台中市	110百万NTD	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	10	エレクトロニクス関連事業	株式会社シーセット	静岡県浜松市中区	19	グラフィックスソリューション事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業				

グループネットワーク



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	3月31日(期末配当)
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページで最新情報を提供

当社のホームページでは、会社情報、各事業情報、CSR情報等に加え、充実したIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.j-material.jp/>



▲トップページ



▲IR情報トップページ

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22

TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828

<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。